

食品新聞

食品新聞社

学生がデザインのラッピング自販機設置

コカ・コーラ×大工大



コカ・コーラボトラーズジャパンは7日、大阪工業大学の学生がデザインしたラッピング自販機を
大阪工業大学梅田キャンパス(大阪市北区)に設置。

大工大の宮岸幸正副学長や

コカ・コーラボトラーズジャパンの壺井孝彦阪神ベンディング営業部担当部長らが

出席し除幕式を行った。

大工大空間デザイン学科3年生が、

産学連携プログラムの課題解決型学習の一環として

「インテリア環境から発想したプロダクトデザイン」をテーマにラッピングデザインに取り組んだもの。

応募総数120作品の中から最優秀賞に選ばれた

同大3年の青木優里香さんのデザインの自販機が披露された。

青木さんのデザインは「せかいが、ひろがる。みらいが、ひらける」をテーマとし、コカ・コーラの瓶の中に大学生活を描いたストーリー性のある作品。今回の受賞について青木さんは「デザインしたものが実際に形になるのは学生にとって大変貴重な体験。今回の経験を今後、デザインに取り組んでいく上で役立てたい」と話した。

除幕式で壺井部長は「今年、事業会社が合併し大きな会社となったが、

『大きくなるほどあなたのそばへ』を合言葉に地域密着を最重要課題として取り組んでいる。

デザインは設置場所である梅田キャンパスの室内空間にマッチしていること、

個性豊かなこと、時代を反映していることなどを審査基準として選考した」とあいさつした。